哀詩数篇

漢那浪笛

青空文庫

くらがり

なすによしなき哀れさよ、
早や日数経て、今日(けう)の日も
暗(くら)がりわたる物おもひ。

水や空なる波の上に、
淋しくかゝる綾雲(あやぐも)は、
やがて消ゆべき希望(のぞみ)かや。

その希望もて吾が道は、
深海(ふかみ)の底の青貝の、
螺線の中のゆきもどり。

物の幾度□貝□葉に、
灰色なせる涙もて、

悲哀の文字を印せしも、
暗き深みのみなぞこの、
声も言葉もかよわねば、
昨日も今日も、かくて暮れゆく。

暮の鐘

灰色の雲かさなりて、
黄昏（たそがれ）は死人のけわひ。
しく〳〵と泣きいる風は、
谷隈（たにくま）の底をはひ出で、
黄ばみたる木立はらひぬ。

冷やかな自然よ君と、
今日も又、かくて暮れゆく、

哀音の鐘の響きは、
痛みたる君が胸より、
傷(いた)ぶた振るる、苦患(くげん)の声か。

うなだるる眼ひらきて
黄昏の空を仰げば
奥津城の岩のほとりの、
小山なす屍(かばね)の上に、
胸もどき声をきゝしる。

青空文庫情報

底本：「沖縄文学全集　第1巻　詩※［#ローマ数字1、1-13-21］」国書刊行会
　1991（平成3）年6月6日第1刷
初出：くらがり「琉球新報」
　1909（明治42）年5月6日
　暮の鐘「琉球新報」
　1909（明治42）年5月6日
入力：坂本真一
校正：良本典代
2017年6月25日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

哀詩数篇

漢那浪笛

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/